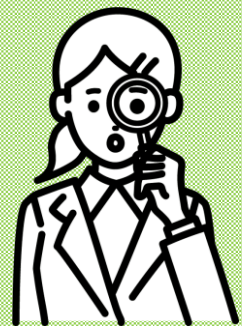




5年前と
どう変わった!?

男女共同参画に関する意識調査を行いました!

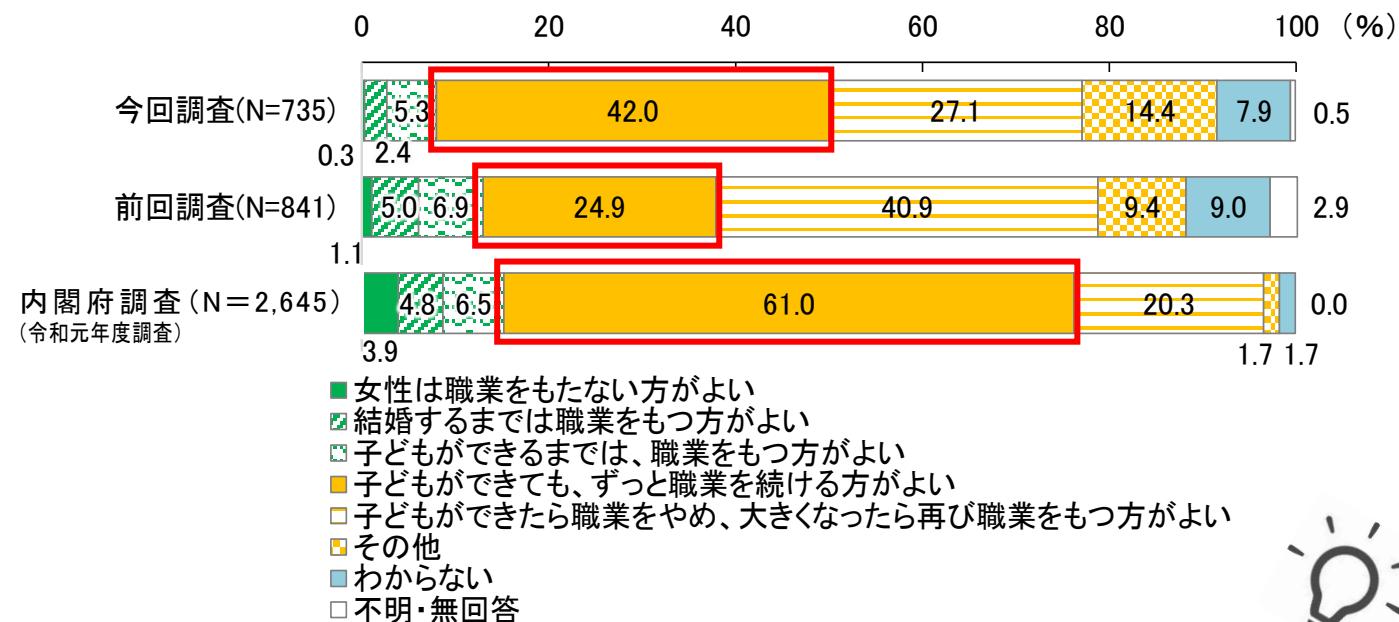


第2次東郷町男女共同参画プランを策定して、5年が経ちました。
今や「十年一昔」ではなく「五年一昔」と例えられるくらい、ものすごい速さで社会情勢は変化し続けています。
こうした変化に対応するため、町民の皆様にも男女共同参画に関する意識調査を行い、ニーズ把握や課題の整理をしました。



調査期間 令和4年7月1日～8月31日（郵送による配布・回収）
対象 本町に居住している20歳以上の住民2,000人（無作為抽出）
回収結果 735人/2,000人（回収率36.8%）

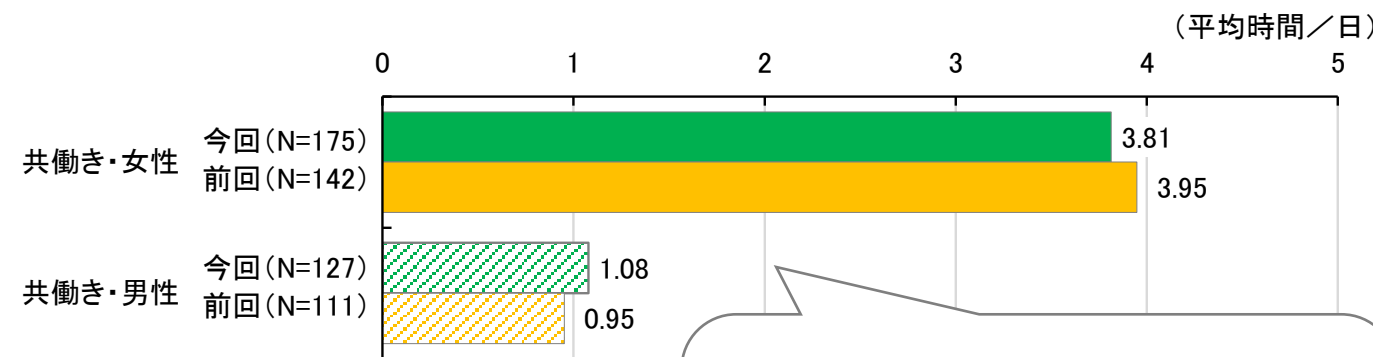
Q1. 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどうお考えですか。



前は、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が最多でしたが、今回は、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が最多となり、職業観に変化が見られます。

内閣府が行った調査結果では、6割以上の方が「子どもができて、ずっと職業をもつ方がよい」と回答しており、本町の結果と開きがあります。背景に、本県は製造業が多いことなど県民性がうかがえます。

Q2. あなたの家事・育児・介護に関わる1日(平日)の時間を教えてください。



共働き家庭での家事・育児・介護に関わる1人当たりの時間は、男女の差は縮まりつつあるものの、女性が男性の約3.5倍長くなっています。

こんな自由意見がありました!

人生の選択として、女性も最後まで働ける環境が必要。



根付いているものはなかなか抜けないと思うので、だからこそ幼少期、学齢期の子どもたちに向けての教育に期待したい。

意識調査からみえてきたこと

多くの家事を女性が担う実態は、前回からあまり変化がないようです。今後は家庭内で性別役割意識を見直すだけでなく、働き方改革などの社会支援が重要だと思いました。

東郷町男女共同参画審議会
学識経験者 高橋靖子 副会長

女性の就業継続意欲の向上などを背景に、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」への関心が、特に若い世代を中心にいっそう高まっていることが分かりました。

東郷町男女共同参画審議会
学識経験者 中村奈津子 委員



今回、意識調査にご回答くださった町民の皆様、ご協力ありがとうございました! 調査結果の詳細は、町ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。